

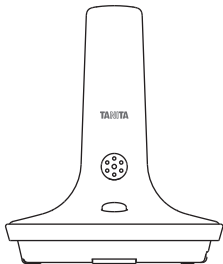
## 取扱説明書 保証書付

コンディションセンサー

# SIRACEL™

シラセル

TT-555/TT-556



### お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながるおそれがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要なときにはすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

※本書に記載されているイラストはイメージ図です。

## もくじ

コンディションセンサーについて……	2
安全上のご注意……	3
取扱い、保管、お手入れについて……	3
各部の名称/付属品……	4
使い方……	5
注意環境の確認・設定変更……	6
お知らせ方法・頻度……	7
アフターサービスについて……	9
熱中症について……	11
暑さ指数と気温、湿度の関係……	12
熱中症予防のための水分補給について……	13
季節性インフルエンザについて……	14
カビ・ダニ、食中毒について……	15
電池の交換……	16
故障かなと思ったら……	17
仕様……	18

# コンディションセンサーについて

このたびは「コンディションセンサー SIRACEL TT-555/TT-556」をお買い上げいただきありがとうございます。

本器は、「熱中症」「カビ・ダニ」「食中毒」「季節性インフルエンザ」の4つが発生しやすい注意環境(コンディション)を3つの方法(光、音声、文字)でお知らせする温湿度計です。忙しいときなど室内環境の変化に気づく前に、SIRACELが注意環境をお知らせしてくれます。

室内の状態をいち早く把握し環境を改善することで、健康管理にお役立てください。

## 3つの方法でお知らせ

### ①光が点灯

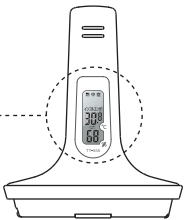
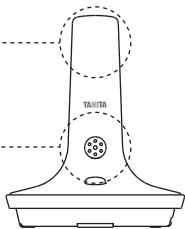
4つの注意環境を4つの色でお知らせします。(☞ P.7)

### ②音声で案内

「カビ発生の可能性があります。湿度を下げましょう。」など注意環境と対策を音声でお知らせします。(☞ P.7)





### ③文字で表示

「熱中症」「カビ・ダニ」「食中毒」「インフルエンザ」の注意表示とともに、温度・湿度を同時に表示します。(☞ P.8)



## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重症を負うおそれのある」内容です。		
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。		
 <b>禁止</b>	してはいけない「禁止」内容です。	 <b>必ず守る</b>	「必ず守っていただく」内容です。
<b>お願い</b>	本器を最良の状態を保つために守っていただきたい内容です。		
<b>メモ</b>	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。		

### 警告



禁止

- 電池や製品を幼児の手の届くところにおかない → 誤飲のおそれがあります。
- 電池は火中に投じない → 破裂してけがをするおそれがあります。

## 取扱い、保管、お手入れについて

### お願い

#### ■取扱い・保管について



禁止

- 絶対に分解しない → 故障の原因になります。
- 倒したり、高いところから落とさない → 故障の原因になります。
- 過度の衝撃や振動を与えない → 故障の原因になります。



必ず守る

- 防水ではないので、湿気の多い所や、水のかかる所、濡れた手での使用は避ける → 故障の原因になります。
- 暖房器具に近い所、温度や湿度の変化の激しい所、ほこりの多い所では保管しない → 故障の原因になります。

#### ■お手入れについて

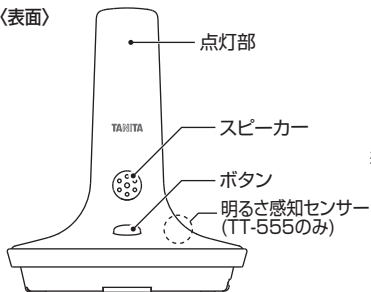


必ず守る

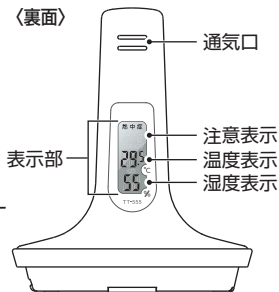
- アルコールや熱湯、シンナーやベンジンなどは使用しない → 故障や部品の割れ・変色などのおそれがあります。本体の汚れは柔らかい布で拭いてください。

# 各部の名称/付属品

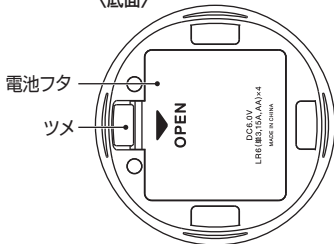
〈表面〉



〈裏面〉



〈底面〉



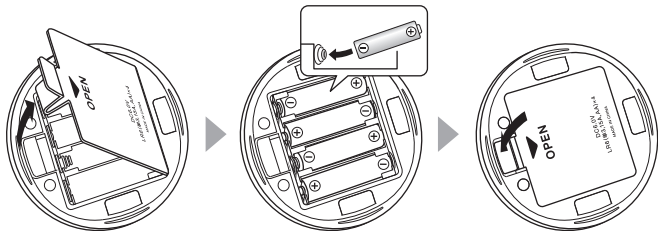
## 付属品

- 取扱説明書(本書) 保証書付
- お試用電池: 単3形アルカリ乾電池(LR6)×4本

※不足しているものがございましたら、お客様サービス相談室までご連絡ください。(P.9)

# 使い方

## 1.電池を入れる



本体底面の電池フタを  
矢印の方向に取り外します。

⊕ ⊖ を間違えないように  
⊖ 側から電池を入れます。

電池フタを取り付けます。  
表示部が全点灯した後、  
現在の温度・湿度・注意  
表示が表示されます。



禁止

以下のことを守らないと、故障の原因になります。

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池の併用は絶対にしない
- 充電式の電池は使用しない

## 2.設置する

直射日光やエアコン、加湿器などの送風が当たらない場所に設置してください。  
設置してから約30分後に正しい値を表示します。

### お願い

通気口を布などで覆わないようご注意ください。

[TT-555]

明るさ感知センサー部が陰になったり、何かで覆われないようご注意ください。  
常夜灯などが近くにある場合は、センサーが部屋の暗さを感知しない場合があるため明るい場所から離して設置してください。

# 注意環境の確認・設定変更

ボタンを押すと、以下の確認・設定変更が可能です。

## 1. ボタンを1回押す

現在の注意環境を音声でお知らせします。

例：「熱中症の危険があります。温度を下げましょう。」

現在の室内環境が注意環境に当てはまらない場合は、「2」から開始します。

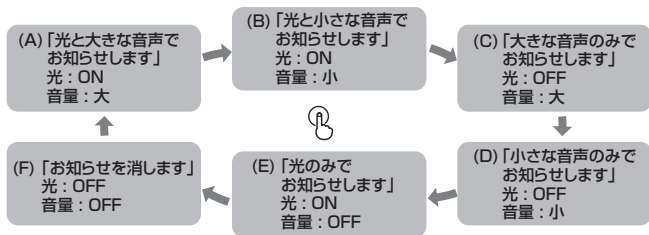
## 2. 続けて1回押す

現在の光と音量の設定を音声でお知らせします。

例：「(A)光と大きな音声でお知らせします」

## 3. 続けて、希望の設定になるまでボタンを押す

例：現在の設定が(A)の場合、ボタンを1回押すと(B)のお知らせが流れます。



### メモ

音声が終わってから5秒以上経つと、次にボタンを押した時は「1」から音声の流れます。  
「1」に戻りたい場合は、5秒以上経ってからボタンを押してください。  
4つの注意環境に当てはまらない場合は「2」から流れます。

## お知らせ方法・頻度

「熱中症」「カビ・ダニ」「食中毒」「季節性インフルエンザ」が発生しやすい環境のとき、以下のようにお知らせします。

- ① **光が点灯** 注意環境を4色の光でお知らせします。光(ON/OFF)の設定ができます。

注意環境	点灯色
熱中症	赤
カビ・ダニ	紫
食中毒	緑
季節性インフルエンザ	青

お知らせ頻度：2分に1回点灯

メモ
電池マーク点灯時は光がOFFになります。

- ② **音声で案内** 注意環境と対策を音声でお知らせします。音量(大/小/OFF)の設定ができます。

注意環境	音 声	
熱中症	熱中症の危険があります。	温度と湿度を速やかに下げましょう。*
		湿度を下げましょう。*
	熱中症に 嚴重警戒してください。	温度と湿度を速やかに下げましょう。*
		湿度を下げましょう。*
カビ・ダニ	カビ発生の 可能性があります。	温度と湿度を速やかに下げましょう。 温度を下げましょう。
		湿度を上げましょう。 湿度を下げましょう。
食中毒	食中毒発生の 可能性があります。	温度と湿度を下げましょう。
季節性インフルエンザ	インフルエンザの 危険があります。	温度と湿度を速やかに上げましょう。 湿度を上げましょう。

お知らせ頻度：1時間に1回 \*30分に1回

### メモ

電池マーク点灯時は、音量OFFの場合も「電池が少なくなりました。交換してください。」と1時間に1回お知らせします。ボタンを押すと同様に音声でお知らせをします。

## お知らせ方法・頻度

### ③文字で表示

表示部に「熱中症」「カビ・ダニ」「食中毒」「インフルエンザ」の注意表示をします。  
温度と湿度は注意環境以外のときも常に表示します。

2つ以上の注意環境に当てはまる場合、複数の注意が同時に表示されます。  
そのとき、光と音声は以下のように1種類のみお知らせします。

- ・「熱中症」、「食中毒」、「カビ・ダニ」に当てはまる場合：熱中症
- ・「熱中症」、「食中毒」に当てはまる場合：熱中症
- ・「食中毒」、「カビ・ダニ」に当てはまる場合：食中毒
- ・「インフルエンザ」、「カビ・ダニ」に当てはまる場合：季節性インフルエンザ



### × モ

- ・電池残量が少なくなると電池マーク(🔋)が点灯します。
- ・温度が測定範囲外の「H」または「L」になった場合、湿度は正確に測定できない場合があるため「-」と表示されます。  
光と音声も正確でない場合があります。
- ・注意環境に当てはまらないとき、光と音声のお知らせはありません。

### 明るさ感知機能(TT-555のみ)

明るさ感知センサーにより室内の明るさを感知し、光の強さ・音量・お知らせ頻度を自動で切り替えます。

夜間の寝室など暗い環境では、以下のタイミングでお知らせします。

光点灯：1時間に1回(明るさを1/3程度に抑えます)

音 声：OFF(熱中症「危険」「嚴重警戒」の場合は1時間に1回お知らせ)

### × モ

電池マーク点灯時は光と音量はOFFとなります。

ボタンを押すと「電池が少なくなりました。交換してください。」と音声でお知らせします。



## アフターサービスについて

### 1. 保証書について

保証書は、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。  
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### 2. 修理を依頼される時

- ・保証期間中は、弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡のうえ、本器に保証書を添えてお送りください。
- ・保証期間が過ぎているときは、弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって本器の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

### 3. ご不明な点は弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **タニタ**

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス

<http://www.tanita.co.jp>

お問い合わせ先

フリー  
ダイヤル



**0120-133821**

携帯電話からはフリーダイヤルに繋がりません。

携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビ  
ダイヤル



**0570-783551**

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間 / 9:00～18:00 (土・日・祝祭日は除く)

### 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
  - 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室にご連絡の上、本器と保証書をお送りください。
  - ご贈答品等で保証書に必要事項が記入されていない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
  - 保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
    - イ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
    - ロ. お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
    - ハ. 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
  - ニ. 保証書の提示がない場合
  - ホ. 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。  
 6. 保証書は、再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。  
 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

## 保証書

販売店様へ \_\_\_\_\_

ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入の上、お客様にお渡しください。

お客様へ \_\_\_\_\_

本書は、無料修理規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

※お客様の個人情報は、修理完了品の発送にのみ使用させていただきます。この間、お客様の個人情報は、第三者が不当に触れることのないよう、弊社規定に基づき、責任を持って管理いたします。

品名	コンディションセンサー TT-555/TT-556		
保証期間	本体 お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所 〒 _____		
	お名前 _____ 様 電話 ( ) _____		
販売店	住所・店名 _____ (印)		
	電話 ( ) _____		

# 熱中症について

近年、地球温暖化の影響で平均気温が上昇し、真夏日や猛暑日が増加しているため、熱中症発症のリスクが高まっています。熱中症は炎天下での激しい運動や労働によって起こるだけでなく、日常生活の中で室内でも発症することがあります。

## 特にこんな人は熱中症に注意

### ● 幼児・学童

体温調節機能が未発達で、適切な水分・塩分の補給は保護者によって行われるため、保護者の対応が不適切になると発症しやすくなります。乳幼児の自動車内放置による熱中症もそのひとつです。車内の温度は数分で50℃以上になることがあります。エンジンをかけ、クーラーをつけていても、何かの拍子で効かなくなることもあるので、季節にかかわらず、短時間であっても、絶対に車内に子どもだけを残さないことが大切です。

### ● 65歳以上の人、特に75歳以上の人

汗の量、のどの渇きなど、体温調節機能が低下するため発症しやすくなります。熱中症死亡者の約80%は高齢者です。居室の温度が28℃を超えないように調節しましょう。訪問や電話による安否確認を1日2回程度行うなど、周囲のサポートも大切です。

### ● 肥満者

体温が上昇しやすい傾向にあるため発症しやすくなります。

### ● 仕事や運動(スポーツ)で無理をしすぎる人、頑張りすぎる人

### ● 基礎疾患のある人、寝たきりの人

高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など。

### ● 熱中症の発症を助長する薬を服用している人

抗コリン作用のある薬は発汗作用を来たす可能性があります。利尿剤は脱水を来たしやすく、興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させます。多くの抗精神病薬は体温調節のはたらきを抑制する可能性があります。医師・薬剤師にお問い合わせください。

### ● 発熱、下痢、二日酔い等、体調不良の場合

### ● 農作業、安全対策作業等で、厚着や安全服等で全身を覆う場合

### ● 急激に高温となった場合

暑さに慣れていないときは、特に注意が必要です。例えば、6月以前に急激に高温になった時や、暑い地方へ旅行をする場合などは注意が必要です。

# 暑さ指数と気温、湿度の関係

暑さ指数(WBGT)※は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。WBGTは人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

※WBGT: Wet Bulb Globe Temperature (湿球黒球温度)

本器では、以下の温度基準(WBGT)の「危険」、「嚴重警戒」、「警戒」のときにお知らせします。

温度基準(WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
<b>危険</b> (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
<b>嚴重警戒</b> (28~31°C)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
<b>警戒</b> (25~28°C)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
<b>注意</b> (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

相対湿度(%)

	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
40	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
39	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42	43
38	28	28	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41	42
37	27	28	29	29	30	31	32	33	34	35	35	36	37	38	39	40	41
36	26	27	28	29	29	30	31	32	33	34	34	35	36	37	38	39	39
35	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	38	38
34	25	25	26	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	36	37	37
33	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	32	32	33	34	35	35	36
32	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	31	31	32	33	34	34	35
31	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	30	30	31	32	33	33	34
30	21	22	23	24	24	25	26	27	27	28	29	29	30	31	32	32	33
29	21	21	22	23	24	24	25	26	26	27	28	29	29	30	31	31	32
28	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31
27	19	20	21	21	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30
26	18	19	20	20	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29
25	18	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26	27	27	28
24	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	26	26	27
23	16	17	17	18	19	19	20	20	21	22	22	23	23	24	25	25	26
22	15	16	17	17	18	18	19	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25
21	15	15	16	16	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	23	23	24

図. WBGTと気温、湿度の関係

# 熱中症予防のための水分補給について

## 日常生活における水分補給

通常の生活では、食事等に含まれる水分を除いた飲料として摂取すべき量は1日あたり1.2Lが目安となります。

就寝中、入浴中も発汗するので、就寝前、起床後、入浴前後にコップ1杯(約200mL)の水分を補給しましょう。

日中は気付かないうちに水分が失われるため、コップ半分程度の水分を定期的に(1時間に1回程度)、のどの渇きを感じる前に補給するよう心掛けましょう。

特に高齢者はのどの渇きを感じにくくなっているため、十分に注意する必要があります。

## 運動時や作業時の補給

水分の補給量は体重減少量の7～8割程度が目安となります。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意が必要です。大量の発汗がある場合は、スポーツ飲料など塩分を0.2%程度含む飲料を摂取しましょう。

**作業前:**コップ1～2杯程度の水分・塩分を補給する。

**作業中:**コップ半分～1杯程度の水分・塩分を20～30分ごとに補給する。

**作業後:**30分以内に水分・塩分を補給する。

## 飲酒時の補給

アルコール飲料は利尿作用が高く、飲酒量以上の水分を排泄するので、飲酒後は水分・塩分を十分に補給しましょう。

## 空調装置使用時の補給

空気が乾燥するので、気がつかないうちに脱水が生じます。こまめに水分と塩分を補給しましょう。

## 季節性インフルエンザについて

庄司内科小児科医院、庄司眞先生の解析結果により、絶対湿度(1m<sup>3</sup>の空気中に含まれる水蒸気の量)が季節性インフルエンザの流行に大きく関与することが確認されました。

インフルエンザ対策の目安	絶対湿度※1	空気の乾燥状態	空気の乾燥状態とインフルエンザの流行	生存率※2
警 戒	7g/m <sup>3</sup> 以下	乾燥	空気が特に乾燥してインフルエンザが <b>流行しやすい状態</b>	20%
注 意	11g/m <sup>3</sup> 以下	やや乾燥	空気が乾燥してきてインフルエンザが <b>流行してよい状態</b>	5%
ほぼ安全	17g/m <sup>3</sup> 以下	湿潤	空気が湿っていてインフルエンザの <b>流行はしにくい状況</b>	ほぼ0%
	17g/m <sup>3</sup> を超える	非常に湿潤	空気が大変湿っていてインフルエンザの <b>流行は非常にしにくい状況</b>	

出典  
 ・財団法人 宮城県地域医療情報センター ホームページ：全国インフルエンザ流行予測  
 ・庄司眞, 片山弘毅：季節性インフルエンザの流行と絶対湿度

### ※1 相対湿度と絶対湿度について

相対湿度は天気予報などで使われている湿度のことで、ある温度での飽和水蒸気量(これ以上空気に溶かすことができない水分量)を100として、今は水分がどれくらい含まれているかを%(単位)で表します。それに対して絶対湿度は室温に関係なく体積1m<sup>3</sup>の空気中に含まれる水蒸気の量のことです。g/m<sup>3</sup>(単位)で表します。したがって、同じ相対湿度60%でも、15℃では絶対湿度8g/m<sup>3</sup>、25℃では絶対湿度14g/m<sup>3</sup>と異なります。  
 本器は、感染予防目安をより分かりやすくするために、マイコンが温度と相対湿度から絶対湿度を自動計算し、「警戒」に当てはまる場合にお知らせをします。

### ※2 生存率について

各環境下で空気中に放出された季節性インフルエンザウィルスの6時間後の生存率です。

# カビ・ダニ、食中毒について

## カビ・ダニ

カビやダニは、吸い込むと気管支ぜん息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー症状を引き起こす場合があります。

### ●発生しやすい環境は？

カビは湿度が高くなると発生し、水まわりや押入などに増殖します。

ダニは人の垢や食べこぼしなどが餌となり、畳・じゅうたん・寝具などの隙間に発生しやすくなります。最適温度25～30℃で、湿度の高い梅雨時に増えはじめ、夏期の7月下旬から9月上旬に最も数が多くなります。

### ●カビ・ダニを予防するには？

換気がもっとも有効な方法です。梅雨時などは、除湿機などを活用しましょう。また、こまめに掃除しダニの餌やアレルゲンであるダニやそのフンなどを除きましょう。

参考: 東京都健康安全研究センター

本器では、湿度70%以上の環境のときにお知らせします。

## 食中毒

食中毒は、その原因となる細菌やウイルスが食べ物に付着し、体内に侵入することによって発生します。

### ●食中毒が発生しやすい環境は？

細菌による食中毒は、気温や湿度が高くなる6月～8月に多く発生します。食中毒を引き起こす細菌の多くは、約20℃で活発に増殖し始めます。O157などの場合は、7～8℃から増殖し始め、35～40℃で最も増殖が活発になります。

### ●食中毒を予防するには？

細菌を「つけない」、「増やさない」、「やっつける」という3つのことが原則となります。

細菌の多くは10℃以下では増殖が遅くなり、-15℃以下では増殖が停止するため、食品は低温で保存することが重要です。

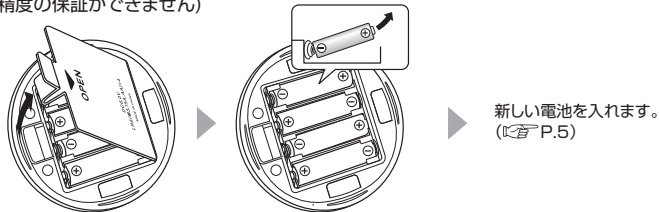
また、ほとんどの細菌やウイルスは高温で死滅しますので、加熱することが大事です(中心部を75℃で1分以上を目安)。

参考: 政府広報オンライン

本器では、温度20度以上、湿度60%以上の環境のときにお知らせします。

## 電池の交換

電池の残量が少なくなったら速やかに新しい電池(4本すべて)と交換してください。  
(精度の保証ができません)



本体底面の電池フタを  
矢印の方向に取り外します。

⊕側から⊖側に押しながら持ち上げ  
使用済み電池を取り出します。

### メモ

電池残量が少なくなったとき以下のお知らせします。

- 表示部：電池マーク(🔋)が表示されます。
- 音 声：1時間に1回またはボタンを押したとき「電池が少なくなりました。交換してください。」とお知らせします。(音量OFFに設定した場合もお知らせします)
- 付属の「お試し用電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- 電池の寿命は約6ヶ月です(機器の使用状況や環境により異なります)。
- 電池を外すと、光と音声の設定が「光:ON、音量:大」に戻ります。(P.6)

### 警告

電池は乳幼児の手の届くところに置かない

→誤飲のおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

真夜中など、お近くの医師に相談できない場合は、下記へ電話して指示を受けてください。



禁止

毒性等に関する  
お問い合わせ先

(公財)日本中毒情報センター中毒110番  
(大阪)072-727-2499(24時間対応)

※使用済み電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。



## 故障かなと思ったら

症 状	考えられる原因	処 置
点灯部が 光らない	電池が入っていない。 電池残量が少なくなっている。	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。(P.5参照)
	「音声のみでお知らせします」または「お知らせを消します」に設定している。	光と音量を再設定してください。(P.6参照)
	室内環境が「熱中症」「カビ・ダニ」「食中毒」「季節性インフルエンザ」のどの状態にも当てはまらない。	左記の注意環境に当てはまらない場合、お知らせしません。
[TT-555] 光が弱い	暗い環境で使用している。	明るさ感知機能により、暗い環境では明るさが抑えられ、点灯の頻度も減ります。(P.8参照)
音声が 出ない	電池が入っていない。 電池残量が少なくなっている。	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。(P.5参照)
	「光のみでお知らせします」または「お知らせを消します」に設定している。	光と音量を再設定してください。(P.6参照)
	室内環境が「熱中症」「カビ・ダニ」「食中毒」「季節性インフルエンザ」のどの状態にも当てはまらない。	左記の注意環境に当てはまらない場合、お知らせしません。
表示が 出ない	電池が入っていない。 電池残量が少なくなっている。	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。(P.5参照)
表示されて いる文字や マークが 欠けている	電池残量が少なくなっている	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。(P.5参照)
	静電気などによる誤作動。	電池の向きを確かめて、電池を入れ直してください。(P.5参照)
温度や湿度が 異常に高い、 あるいは低い	適した場所に置いていない。 通気口がふさがっている。	設置方法を確認し、しばらく経ってからご確認ください。(P.5参照)
光と音量の 設定変更が できない	電池残量が少なくなっている。	電池の向きを確かめて、指定の新しい電池を入れてください。(P.5参照)
[TT-555] 室内の明る さを感知し ない	明るさ感知センサーが陰になっている、あるいは何かで覆われている。本器を常夜灯の近くなど、明るい環境に置いている。	設置場所と設置方法をご確認ください。(P.5参照)

# 仕 様

表示方法		LCD表示
表 示 内 容	温 度	-5.0~50.0℃(最小表示0.1℃)、-5.0℃未満:Lo、50.0℃を超える:Hi
	湿 度	20~90%(最小表示1%)、20%未満:Lo、90%を超える:Hi
	注意表示	4種類(熱中症、食中毒、カビ・ダニ、インフルエンザ)
明るさ感知機能 [TT-555のみ]	光点灯	室内の明るさを感知し、明暗を自動で切替
	音 声	室内の明るさを感知し、暗い環境で音量OFF (ただし熱中症危険・嚴重警戒、電池消耗時は音声あり)
お知らせ機能	光点灯	赤:熱中症、紫:カビ・ダニ、緑:食中毒、青:季節性インフルエンザ 点灯(ON/OFF)
	音 声	熱中症、カビ・ダニ、食中毒、季節性インフルエンザの注意環境をアナウンス 音量(大/小/OFF)
使用温湿度 範囲	温 度	-5~50℃
	湿 度	20~90%
精 度	温 度	0~40℃±1℃ それ以外±2℃
	湿 度	35~75%±5% それ以外±10%
電 源		DC6.0V 単3形アルカリ乾電池(LR6)×4本
電池寿命		約6ヶ月(機器の使用状況や環境などによる)
本体寸法・質量		D99×W99×H118mm TT-555: 約190g (乾電池含む) TT-556: 約189g (乾電池含む)
主な材質		PC, ABS, PMMA
付 属 品		取扱説明書(保証書付)、お試用電池[単3形アルカリ乾電池(LR6)×4本]

※デザイン及び製品仕様は予告なく変更する場合があります。